

ツルガ 「TSキャップ」発売 アンカーボルトの防錆用



路上に飛散するなど事故の危険性を少なからずはらむが、軟質なら外れにくく、

ネジ商社として30年の歴史を持つツルガ(本社・大阪府東大阪市)はこのほど、高速道路のアンカーボルト防錆保護用「TSキャップ」(写真)を発売した。

特徴は素材に軟質塩化ビニールを採用して、劣化しにくい上に柔軟性を確保したこと。さらに、ボルト・ナットとの密着性が高く、浸水阻止などに効果がある。従来の硬質プラスチック製は割れた際、破片が

万一外れた場合でも割れず事故防止の効果がある。キャップ厚は最小1・5ミ。限られたスペースでの使用に最適だ。すでに高速道路の照明柱や防音壁部などに導入事例がある。

ボルト・ナットを型取りして作成するので、色、サイズ、形状などのカスタマイズが可能。「小ロットでも柔軟に対応します。初年度売上は40万個、6000万円を想定しています」と同社。